

事務事業	45	学校施設の改善					
章	2	ともに学ぶ、文化とふれあいのあるまち					
大項目	01	生涯学習、スポーツの推進					
施策	01	学習・教育環境の充実					
事業内容							
目的	区立幼稚園の保育室等を空調化することによって、通年良好な環境の整備を図ります。						
対象・手段	対象：幼稚園22園、中学校図書室5校 手段：区施設の営繕工事及びレンタル						
成果(事業が意図する成果)							
通年良好な環境を整備することにより、教育の充実を図ることができます。							
事業成果指標							
指標名		定義			目標水準		
幼稚園保育室・遊戯室等、中学校図書室空調化割合		対象園、校に対する達成率			(平成18)年度に (100%)の水準達成		
					()年度に ()の水準達成		
					()年度に ()の水準達成		
成果の達成状況							
	単 位	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	備 考	
事業成果指標	目標値1	%	0.00	100.00	100.00	100.00	
	実績1	%	0.00	100.00	100.00	100.00	
	= /	%	0.00	100.00	100.00	100.00	
	目標値2		0.00	0.00	0.00	0.00	
	実績2		0.00	0.00	0.00	0.00	
	= /	%	0.00	0.00	0.00	0.00	
	目標値3		0.00	0.00	0.00	0.00	
	実績3		0.00	0.00	0.00	0.00	
	= /	%	0.00	0.00	0.00	0.00	
事業の実施内容							
平成18年度	幼稚園の保育室等及び中学校図書室の空調化完了。						
平成19年度	計画なし						

部名称		教育委員会事務局			課名称		教育施設課	
		単 位	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	備 考	
トータルコスト	事業費	千円	492,359	0	0	0	事業費については、17年度から発生主義の考え方を取り入れています。 <減価償却費の算定> [17年度]工事費 125,157千円×90%（残存価値10%）÷耐用年数15年=7,509千円 [18年度]工事費 135,898千円×90%（残存価値10%）÷耐用年数15年=8,154千円	
	人件費	千円	10,422	6,254	6,624	0		
	事務費	千円	0	0	0	0		
	減価償却費等	千円	0	7,509	15,663	15,663		
	総計 = + + +	千円	502,781	13,763	22,287	15,663		
	受益者負担	千円	0	0	0	0		
	純計 = -	千円	502,781	13,763	22,287	15,663		
	受益者負担率 /	%	0.00	0.00	0.00	0.00		
財源内訳	一般財源 = -	千円	502,781	13,763	22,287	15,663		
	特定財源		0	0	0	0		
	一般財源投入率 /	%	100.00	100.00	100.00	100.00		
職員	常勤職員	人	1.25	0.75	0.80	0.00		
	非常勤職員		0.00	0.00	0.00	0.00		
事業に関する検討課題								
<p>小・中学校の普通教室、図書室及び幼稚園の保育室・遊戯室の空調化を完了しましたが、これら空調機のメンテナンスを適切に行っていく必要があります。</p>								
評価基準に基づく評価と理由	達成度	3	17・18年度において、幼稚園の保育室、遊戯室等、中学校図書室の空調化を計画どおり行いました。					
	実施の成果	3	全小中学校の普通教室・図書室及び幼稚園の保育室・遊戯室等の空調化を行ったことで、児童・生徒・園児の学習意欲、学習能率の向上に大きく寄与しています。					
	効率性	2	将来的なコスト負担を考えて施工しますが、短期の場合には、レンタル設置として、効率的な対応をとっています。					
	行政の関与	3	良好な学習・教育環境の整備は学校設置者たる区の責務です。					
	妥当性	3	近年、とみに顕著となってきたヒートアイランド現象及び都心部の大気汚染を考慮すると、良好な学習・教育環境の整備には空調化が有効な手段の一つです。					
	施策寄与度	3	17・18年度において、幼稚園の保育室、遊戯室等、中学校図書室の空調化を計画どおり行い、児童・生徒・園児の学習・教育環境の充実に大きく寄与しています。					
総合評価	近年、とみに顕著になってきたヒートアイランド現象及び都心部の大気汚染を考慮すると、次世代を担う小学校、中学校の普通教室、幼稚園保育室等の空調化は、良好な学習・教育環境の整備を図る上で、必要不可欠となっています。したがって、小・中学校普通教室・図書室、幼稚園保育室等の空調化は、児童・生徒の学習意欲、学習能率の向上に大きく寄与しています。 幼稚園の保育室、遊戯室及び中学校図書室について、計画どおり17・18年度に空調整備を行いました。その結果、計画どおり全小中学校の普通教室・図書室及び幼稚園の保育室・遊戯室等の空調化を完了したので、過去3年間の実績はBと評価します。						B	
							過年度評価	18年度 B 17年度 B 16年度 A 15年度
改革方針	小・中学校の普通教室及び小学校図書室の空調化を完了し、18年度においては中学校図書室及び幼稚園の保育室・遊戯室の空調化を完了しました。 今後は、第一次実行計画「18学校施設の改善」において、整備済みの音楽室とコンピュータ室を除く特別教室のうち、学習指導要領に定められている教科指導を行う教室、少人数学習で使用する教室及びPTAや地域の活動に使用する会議室の空調整備を行います。						方向性	
							1	現状のまま継続